

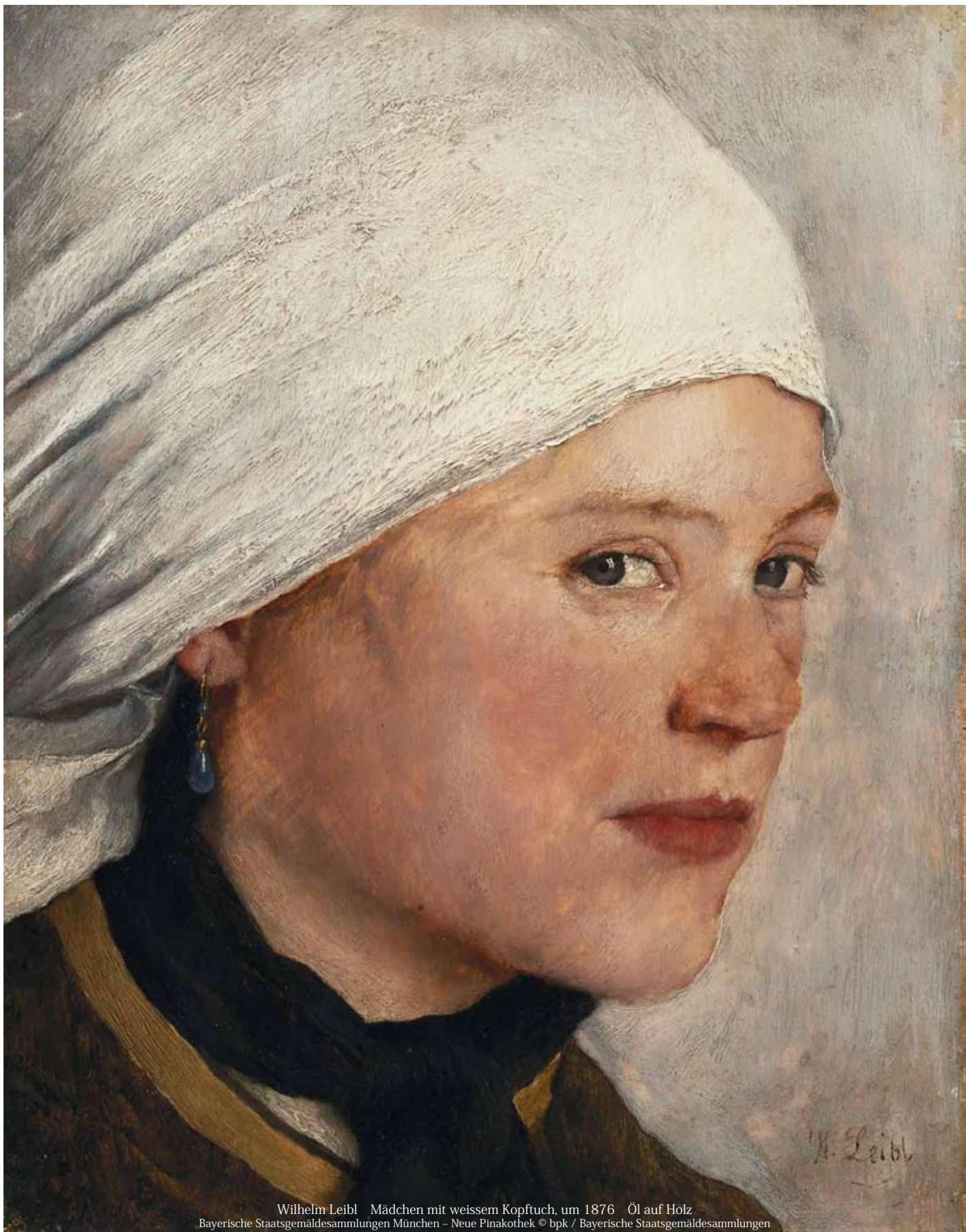
月刊 ウィーン

Monatsmagazin Japanisch

現地オリジナル取材と編集で
ウィーンを伝える月刊情報紙

創刊平成元年 創刊31年目 **Nr. 365**

GEKKAN-WIEN 2020年3月号



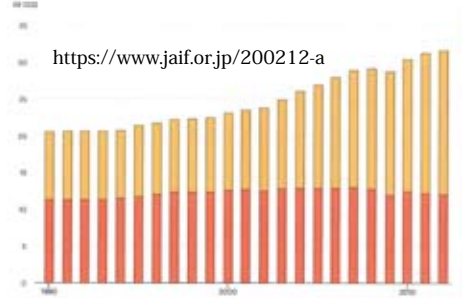
Wilhelm Leibl Mädchen mit weissem Kopftuch, um 1876 Öl auf Holz
Bayerische Staatsgemäldesammlungen München - Neue Pinakothek © bpk / Bayerische Staatsgemäldesammlungen



杉本純の原子力の話II ウィーンと京都 98

国際エネルギー機関（IEA）は二月十一日、世界のエネルギー部門から排出されるCO₂の量が二〇一九年は過去二年続いた増加傾向が停止し、二〇一八年実績とほぼ同レベルの約三三〇億トンだったと発表した。

世界経済が二・九%拡大するなか、CO₂排出量がさらに増加するとの予想に反して横ばいとなったのは、主に先進経済諸国で発電にともなう排出量が減少したからだ」と説明。これらの国では、風力や太陽光など再生可能エネルギーの役割が強化されるとともに、石炭火力から天然ガス火力への転換、原子力発電所の高稼働などが功を奏した。



同事務局長はまた、排出量の増加が止まったことは、この一〇年間で地球温暖化に立ち向かえるとする根拠になっていると説明。クリーンエネルギーへの移行が進んでいる証であり、一層意欲的な政策や投資によってCO₂の排出量に有意な変化をもたらすことができる」と示された。

IEAによると、先進経済諸国におけるCO₂排出量の実質的な低下は、他の国で排出量が引き続き増加するのを相殺する結果になった。米国は国ベースの排出量が最大値を記録し、二〇一九年は排出量がピーク時の二〇〇〇年から約一〇億トン削減された。欧州連合諸国の排出量も、二〇一九年は発電部門の排出量が下がったため全体で二・六億トンの排出量が削減された。原因としては天然ガスの発電量が初めて石炭火力を抜いたほか、風力発電量も石炭火力と肩を並べるまでに増加したとしている。

日本については特に、近年再稼働を果たした商業炉により原子力発電量が四〇%拡大し、石炭や天然ガス、石油による発電量を押し下げたと指摘。CO₂排出量も対前年比四・三%減の二〇・三億トンになったが、これは二〇〇九年以降最速の削減ペースであるとともに、発電部門での最大下げ幅になったと強調。

横ばいの他の要因として、IEAはいくつかの国で気候が穏やかだったこと、新興国市場の一部で経済成長が鈍化したことなどを挙げた。このような結果についてピロル事務局長は、「CO₂排出量の増加傾向が一時的にただ停止したと言っよりも、二〇一九年に決定的なピークを迎えたと徐々に記憶されるよう、今こそ最大限の努力を傾注する必要がある」と明言。世界にはそのためのエネルギー技術が存在することから、それらはすべて活用すべき、IEAとしては、排出量の削減に向けて各国政府や企業、投資家、温暖化防止に純粹に取り組んでいるリーダーたちとの協力体制を構築中だとした。

奥の壁には、モーツアルト、ベートーベン、リヒャルト・ワーグナーなどの音楽家の他、マーク・トウェインなどのサインを見つけてることができる。歴史的なレストランであるが、シュニッツェルなどの味も評判がいい。

一方、京都下区にある田中伊雅（いが）仏具店は、創業が仁和年間（八八五年頃）、我が国の最老舗企業7社のうちのひとつである。平安京遷都により数多く建立された寺院に納めるべく、創業以来七〇代にわたり、真言宗や天台宗をはじめ各宗派の仏具の製造を続けている。たまた一筋に匠としての心技を磨き、京佛具の本流を受け継いで千年余りの年月を刻み、伝統に培われた先鋭の技法によって、新たな至高の荘厳品を創出し、次の時代へ受け継ぐことが宿命であるとしている。社名は元々「伊賀」と記したが、この表記は天皇家ゆかりの者のみに許されるものであることから、仁和寺の門跡より授けられた「伊雅」に改めた。社紋は、仏具の一つの華蓋（けまん）をモチーフにしている。両市の長寿企業は、長い歴史を伝統に裏打ちされた技能が共通している。

余談であるが、筆者はお客さんを連れてグリーヒェンバイスルで食事をしたことが何回かある。モーツアルトやベートーベンのサインには正直驚いた。田中伊雅仏具店に入ったことはないが、比較的近くの五条烏丸の蕎麦屋を利用したことがある。今月も両市の歴史的な長寿企業にまつわる話を紹介できた幸運に感謝しつつ、編集部撮影をお願いしたグリーヒェンバイスルの写真を掲載させていただきます。

杉本純 元京都大学教授
元原子力機構ウィーン事務所長



杉本純の原子力の話II 「ウィーンと京都」の第1回からの全記事が次のサイトに掲載されています：<http://wattandedison.com/Sugimoto.html>

Ludwig van Beethoven 生誕 250 周年 ベートーヴェン 2020

1770年12月16日頃ドイツ・ボン生～1827年3月26日ウィーン没

葬儀博物館 Bestattungsmuseum (中央墓地 Zentralfriedhof 内)

特別展「ベートーヴェンと同時代の仲間」



葬儀博物館のベートーヴェン特別展で展示されているベートーヴェン埋葬式 1827年3月29日の招待状

特別展のハイライト：ベートーヴェン、ヨーゼフ・ハイドン、モーツアルト、シュベールのデスマスク展示

【開館】月～金 09:00-16:30 土 10:00-17:30

葬儀博物館 (11区) Simmeringer Hauptstraße 234, Zentralfriedhof Tor 2, Untergeschoß der Halle 2

横顔のウィーン
Jun Sugimoto

マーラー 全歌詞対訳集
可成邦訳
MAHLER
グスタフ・マーラーの作品の全歌詞対訳集。詳細な解説と収録した対訳全集。

ウィーンのドイツ語
河野純一 著

ウィーン遠聞
河野純一 著